

## 第3章 推進ビジョンの実現に向けて

協働という視点でそれぞれの団体や個人が持つ経験や知識などをつなぎ、その輪を重ねていくネットワークの構築、地域での自発的な活動を生み出し未来につなげるための地域における支援の強化、新たな参加を促す取組や交流機会の提供を進めることによる幅広い意見・提案の吸い上げを行い、市民活動推進ビジョンの実現をめざします。そして、市民活動支援施設がサポートやコーディネートの実質を図るとともに、3つの基本指針を総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

### 1 ビジョンの実現に向けた3つの基本指針

#### 基本指針 1 市民活動への参画促進

◆市と市民活動支援施設が連携して、市民活動への参画のきっかけづくりをはじめ、新たな気づきと活力を創出するサポートや楽しく暮らしやすいまちづくりに向けた柔軟な仕組みづくりを進めます。

#### 基本指針 2 市民活動を支援する体制の充実強化

◆暮らしや多様性を尊重する視点にたつて、地域課題の解決に向けた活動が市域全域で持続的・発展的に取り組まれるよう、市民活動団体の事業戦略など、運営や活動をサポートする体制の充実強化を進めます。

#### 基本指針 3 多様な市民活動の創出

◆暮らしの豊かさをめざすため、地域社会の活力を高める多彩な取組が生まれ、市民活動団体相互の協力、連携や学校、企業、NPO、市などが交流できるよう多様な市民活動の創出を進めます。

## 2 藤沢がめざす協働の姿

目標を共有し、ともに力を合わせて取り組む協働は、「暮らしの中の気づき」や「自分たちのまちをもっと良くしたい。自分たちのまちは自分たちでつくる」という一人ひとりの思いから始まります。

地域を知り、地域を良くするアイデアを考え、実行してみても仲間を増やす。こうした一連の動きが、藤沢のまちに様々な良い変化をもたらすと考えます。

このような動きが、子どもから若者、シニアに至るまで多様な世代間での連携に発展することで、地域で人が生まれ、愛着が生まれ、地域に根差した持続的な市民活動が育つ好循環を生み出すべく、施策を推進してまいります。

